

## 再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課：道路整備課  
担当課長名：久保 義人

事業名	一般国道439号 落合バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	徳島県	
起終点	自：徳島県三好市東祖谷落合 至：徳島県三好市東祖谷京上				延長	1.9km	
事業概要	一般国道439号は、県中央部を東西に縦断する幹線道路であり、「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」における、剣山国定公園を中心とした観光周遊道路の一郭を成す重要な路線である。落合バイパスは、「剣山」、「落合集落」および「奥祖谷二重かずら橋」などの観光施設間の連携強化を図るとともに、幅員狭小や線形不良などの隘路を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的に整備する2車線道路である。						
平成13年度事業化	—		平成14年度用地買収着手	平成15年度工事着手			
全体事業費	42億円		事業進捗率	75%		供用済延長	1.4km
計画交通量	1,100台/日						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 1.6	総費用：(残事業)/事業全体 9.2/47.6億円 (事業費：9.1/47.0億円 維持管理費：0.1/0.6億円)	総便益：(残事業)/事業全体 15.0/50.6億円 (走行時間短縮便益：14.0/47.0億円 走行経費減少便益：1.0/3.4億円 交通事故減少便益：0.0/0.2億円)	基準年：平成27年度			
感度分析の結果	【事業全体】交通量：B/C=1.0～1.2(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.0～1.1(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.1～1.1(事業期間±1年)						
感度分析の結果	【残事業】交通量：B/C=1.5～1.8(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.5～1.8(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.6～1.6(事業期間±1年)						
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>国土・地域ネットワークの構築（大型車すれ違い困難区間2.4kmの解消）</li> <li>災害への備え（緊急輸送道路における対策工事の完成、落石危険箇所2箇所の解消）</li> <li>個性ある地域の形成（剣山、落合集落等の観光地へのアクセス向上）</li> </ul>						
関係する地方公共団体等の意見	・沿線市町村で構成される「国道438号・439号並びに主要地方道山城東祖谷山線改良促進期成同盟会」から早期整備を求める要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・平成18年3月に市町村合併（三野町、池田町、山城町、井川町、西祖谷山村、東祖谷山村）により三好市が発足。 ・平成25年4月に三好市を含む県西部地域を圏域とする「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」が認定						
事業の進捗状況、残事業の内容等	・平成26年度までの供用区間は全延長1.9kmのうち1.4km（約74%） ・残事業 現道拡幅区間：235m トンネル区間：255m(取合含む)						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・計画の見直しに時間を要したが、現道拡幅計画に変更したため、今後は、早期整備に努め、現道拡幅部分の早期効果発現を図る。						
施設の構造や工法の変更等	・トンネル区間を一部現道拡幅ルートへ変更し、事業費の削減を行った。						
対応方針	見直して継続						
対応方針決定の理由	・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えている。						
事業概要図							

※総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。